

1人1台タブレット端末の活用で、伝えたいことを表現し、新たな気づきを生む学習

第2学年

つたわる 広がる わたしの生活

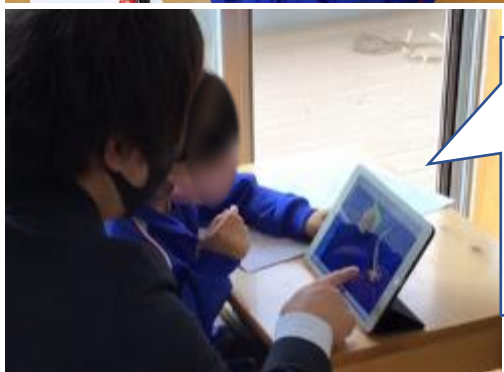
こんな子どもたちの姿が生まれました!

- 伝える相手を明確にし、表現内容や表現方法を考えることができました。
- 身近な人々や自然などの対象のもつ特徴や価値を見いだすことができました。

タブレット端末の活用による効果



お店の豆腐のおいしさが伝わる写真を載せたいな。食べている時かできたての豆腐か、どちらの写真を載せようかな。



いちじくの赤い部分をよく見てほしいな。写真を大きくしよう。ひとつのかたまりの中にも濃い赤と薄い赤色があるな。色の違いがわかるようにもっと大きくしたほうがいいな。

保存機能を用いて、伝えたい場面に合う写真を選択できるようにする。

- ・今までの活動の中で撮った写真を見つめ直し、印象に残った場面での思いや学びを想起できるようにする。
- ・自分の願うパンフレットが完成するように、伝えたいことを書いた文章に合う写真を選択できるようにする。

写真の加工など、表現方法を考えることができるようにする。

- ・加工した写真を印刷したり、調べたことを絵で表して台紙に添付したりして、パンフレットの完成を目指しながら、表現内容や表現方法を見つめ直すことができるようにする。

教師の指導のポイント

- 写真の選択・加工・印刷するなど、活動の状況に応じて「1年生がこの写真や絵を見た時、どう思うかな。」と問いかけ、相手意識をもち、自分の「表現」した結果を見つめ、考え直したり新たな思いや願いが生まれたりできるようにする。

電子黒板の活用による効果



電子黒板(グレーボード)を用いて、仲間の作品を提示し、個の気づきの質の高まりを学級全体で共有できるようにする。

- ・作成したパンフレットを各自のタブレットで写真撮影し、それを電子黒板に映し出す。そこで、着目してほしい部分を拡大して提示し、その部分を指し示しながら説明できるようにする。

教師の指導のポイント

- 電子黒板に着目してほしい部分を拡大して映し出すことで、自分が伝えたいことや仲間が気付いたことを明確に示し、それを学級全員で共有できるようにする。そして、その映像をもとに、自分の気づきとそれらの気づきを比べて、共通点や相違点を見付け、一人一人の気づきの質を高めていくことができるように働きかける。